様式３（2015.06改）

作成日　平成31年　2月27日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392300071
事業所名	グループホームねこの手

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入し回覧板で情報を得ている。地域の公園の清掃活動や草取り、敬老会の行事や盆踊りの練習などにも参加をして交流を深めている。また、地域の商店や飲食店などを利用することで繋がりや信頼関係も深まり、散歩の際には近隣の方と挨拶を交わす関係ができている。。事業所主催の祭りには地域の方の参加もあり親睦や交流の場となっている。中学生の職場体験や音楽演奏、朗読、傾聴などのボランティアを受け入れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	家族代表、地域代表、民生委員、包括支援センターや市職員の参加を得て年6回実施している。事業所の運営状況や活動内容の報告をしている。身体拘束の取り組みとして「身体拘束適正委員会」を開催し、スピーチロックなどテーマを決めて勉強会を実施している。参加者からの意見や提案等はその場で話し合ったり、記録して職員会議などで協議しサービスの向上に活かしている。入居者家族の参加が多くなるよう検討中である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議に市の担当者が毎回参加し情報やアドバイスを得ている。申請の代行や成年後見業務などで役所へ出向き報告や相談、サービスの内容などを伝えている。また地域の困難事例の依頼の受け入れや、管理者が市の介護連絡協議会の代表を務めるなど良好な協力関係を築いている。市主催の研修会には積極的に参加している。今年度は県主催の介護事業所人材育成認証評価事業の「あいち介護サービス大賞」にエントリーしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは、日々の関わりの中から思いを聞いている。意見や要望などは、申し送りノートに記録してカンファレンスで話し合い、検討して情報を共有し運営に反映させている。家族からは面会時や夏祭り、クリスマス会などの行事の折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	－	－	○	○	○	○	○	○	◎	○	